

会議の実施日時	令和3年1月20日 14:00~14:35 令和2年度第3回
<b>報告事項1 (令和元年度病床機能報告の結果について)</b>	
<p>○ 事務局より、令和元年度病床機能報告の結果における呉圏域の状況について、概略を説明</p> <p>○ 定量的基準の見直しについて、今年度の定量的基準の見直しは行わず、来年度以降に令和3年度以降の病床機能報告に合わせた見直しを検討することが、県単位の地域医療構想調整会議において確認されたことを報告</p> <p>《質問・意見等》 特になし。</p>	
<b>報告事項2 (新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方について)</b>	
<p>○ 事務局より、国において取りまとめられた内容の概要として、次の点を報告</p> <p>① 新興感染症等の感染拡大時における体制確保についての医療計画記載事項への追加</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の5事業に追加して6事業とし、令和6年度からの第8次医療計画から追加する。</li></ul> <p>② 今後の地域医療構想に関する考え方・進め方</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 感染拡大時の短期的な医療需要には、各都道府県の「医療計画」に基づき機動的に対応することを前提に、地域医療構想については、その基本的な枠組みを維持しつつ、着実に取組を進めていく。</li><li>・ 地域医療構想の実現に向けた今後の取組については、各医療機関、地域医療構想調整会議における議論について、公立・公的医療機関等において、具体的対応方針の再検証等を踏まえ、着実に議論・取組を実施するとともに、民間医療機関においても、改めて対応方針の策定を進め、地域医療構想調整会議の議論を活発化する。</li><li>・ 地域医療構想の実現に向けた今後の行程については、新型コロナ対応の状況に配慮しつつ、都道府県等とも協議を行い、この冬の感染状況を見ながら、改めて具体的な工程の設定について検討する。</li></ul> <p>《質問・意見等》 特になし。</p>	
<b>協議事項 (公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について)</b>	
<p>○ 事務局より、再検証等について、国、県、呉圏域の区分で動向や対応状況の概要を説明</p> <p>○ 再検証後の具体的対応方針を内容とする済生会呉病院(新)公的医療機関等2025プランの旧プランとの変更点について、次のとおり説明</p> <p>① 基本情報の許可病床数について、急性期機能150床を、急性期100床、回復期50床に変更。</p> <p>② 今後の方針について、現状に則した記述に変更。</p> <p>③ 具体的な計画に係る今後の方針として、2025年度も急性期150床としていたところを急性期50床、回復期100床に変更。</p> <p>※ 現在の病床数について、基点が平成26年度病床機能報告であるため、急性期が150床という数字になっているが、現状としては、平成30年8月までに、すでに50床を回復期に転換済み。</p> <p>④ 年次スケジュールとして、令和3年2月1日に急性期病棟50床を地域包括ケア病棟に転換し、急性期50床、回復期100床とする予定を追記。</p>	

- 12月に開催した病床部会において県地域医療構想アドバイザーからの助言があり，病床機能転換補助金の活用について調整を進めていたが，工期等の都合により活用を見送った旨説明
- 参考に，病床転換や病床削減に係る補助金の担当窓口を紹介

**【済生会呉病院長 補足説明】**

- 12月の病床部会の際には15～20床の地域包括ケア病床への転換を考えると説明していたが，その後の検討，50床を転換することに決定した。
- 年度内の2月に転換手続きを行うが，補助金を活用するためには，今年度内に工事を完了させる必要があり，入札等の手順を考えると年度内の工事完了が難しいため補助制度は利用しないこととした。

《質問・意見等》

特になし。

事務局及び済生会呉病院長から説明のうえ，委員からは特に意見等はなく，済生会呉病院(新)公的医療機関等 2025 プランについて，再検証後の具体的対応方針として呉圏域地域医療構想調整会議で確認・共有した。